

一般質問

6月定例会



伊藤 好晴 議員

Q 生活保護基準 引き下げの影響は

生活保護基準が高いというだけで基準を引き下げることが妥当ではない。低所得世帯の消費水準と比較して高いからと言って生活保護基準を引き下げるとしたら負のスパイラルに陥る可能性がある」と問題提起した。国の調査によると、38件の制度が影響を受けるとされているが、本町にどのような影響がでるか調査を提案した。その結果を問う。



町民生活への影響はどうか

A 他制度への 影響はない

町長 山崎 英樹
生活扶助基準が見直しされて、本年8月から3年間で段階的に改定される。本町においては、国の対応に準じて行うものが大半で、本年度は他制度への影響は無いと考えている。
福祉事務所長 山下 英次
生活保護制度の生活扶助基準見直しによって、町民の生活に影響する制度は38項目あるが、町民生活に影響が出ないよう対応していく。

Q 国保負担増への 考えは

国保の都道府県への運営移行で保険料が最高3万9000円増えると新聞報道された。特に離島、山間部の市町村で負担増が顕著で、保険料が大幅に増える試算になっており、本町では1万9284円の引き上げとなっている。保険料負担増についての町長の考えは。

A 県一本化の 運用で

町長 山崎 英樹
国民健康保険は現在、本町の4割の世帯が加入し、国保財政を運営している。医療費は、県平均で毎年3%上昇し、各市町村は保険料の値上げで対応している。本町では、被保険者の負担を考慮して、国保財政基金と共同事業交付金を繰り入れ、保険料を据え置いていた経過がある。本町においても厳しい状況であり、県一本化での運用をすべきと思っている。

Q 24時間サービスの 必要性和実態は

要介護の高齢者の在宅生活を支援するため導入された介護保険「24時間地域巡回サービス」を利用できる地域が、今年3月時点で市町村広域連合の7.6%にあたる120自治体にとどまっている。24時間サービスは夜間対応する職員の確保や採算への懸念を抱く介護事業者の参入が進まず、見通し通りに普及しておらず、町村ではほとんど実施されていない。このサービスは、広域連合が事業主体だが、必要性和実態について問う。

A 県内では 実施されていない

町長 山崎 英樹
24時間型サービスのシステムは本町に必要だと思っている。しかしながらそれを運営するための採算や、事業を展開するためのマンパワーが不足しており、島根県内では今、取り組んでいる所はない状況だ。

一般質問

6月定例会



門 眞一郎 議員

Q 交通弱者への 対策は

町内を運行する民営バスと町営バスの運賃に差があることに疑問を呈する町民からの声があった。交通弱者対策にはバスの増便や路線の拡充など手段はあるが、費用対効果を検証しながら、利用促進策を取っていく必要がある。反面、高齢になっても運転免許証を手放せる人は少ないが、加齢により交通事故リスクは年々高くなるので、免許証を返納しても困らない程度の交通弱者対策はとるべきだ。せめて町内だけでも民営バスを町営バスと同じ運賃にし、利用しやすい環境にするべきでは無いのか。町長の交通弱者対策の考え方は。また、町長の考える公助のあり方と公助の限界はどの辺にあると考えているのか問う。

A 行政と住民の 役割分担で

町長 山崎 英樹
高速道路の開通により、バス等の交通環境が大きく変わった。そのため、4月1日から新たなバス運行を始めている。今後、費用対効果も念頭に置きながら、この運行のあり方について整理していく。町民が自助努力では解消しえない課題を行政が主体となって実施することが公助の部分にあたるかと考えているが、そこには一つ共助という考え方も加わる。しかし、町民の要望すべてに行政がこたえるということはない、なかなか難しいところもあり、特に行政として取り組む部分を町民に説明し、これを補完していくために行政と地域住民とが役割を分担し、協力をしながら取り組む。こうしたことが地域力の向上、地域の活力向上につながると思っている。

デマンドバスのモデル 事業はどうか

先に、総務大臣表彰を受けた谷地区のデマンドバスの取り組みはこれに対する良い例であるが、課題を精査し、解決策を講じた上で、飯南町版コミュニティデマンドバスのモデル事業を策定し、今後の交通弱者対策を必要としている地域に取り組んでもらうかどうか。



生活路線バス 通称い〜にゃんバス

地域創造事業を支援

町長 山崎 英樹
谷自治振興会で実施されている自治会輸送活動を例に、飯南町版のコミュニティバスの運行をということだが、これが全てではないが、公民館単位で飯南町住みよい地域創造事業を行っている。地域運営のいろんな課題を解決する仕組みづくりを行うもので、具体的な取り組み活動にともなわっていただき、必要な場合にはその財政的な支援をする考えだ。